

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 2年次生 田中 優

1. はじめに

この度国際交流基金の助成を受け、2018年3月4日～3月31日までの4週間カナダのバンクーバーに語学研修として訪れたことを報告致します。滞在中はバンクーバーのDowntownのGranvilleに位置するILSCという語学学校に週5日ホームステイ先から通い、週末には様々なアクティビティに参加しました。現地の学校に通い様々な国の人と交流することで自分の視野を広げ、行動力・様々な能力を伸ばすことを目標に今回の語学留学に取り組みました。

2. 語学学校について

私が通っていたILSCという語学学校は10レベルにクラス分けされており初日に行われたwritingとspeakingのテストによりクラスが決まりました。授業は毎日3コマあり私は午前中にconversation、午後にlisteningのクラスを受講しました。午前中はconversation以外にgrammar, writing, pronounce, listening, speakingなど様々な分野をゲームや映画鑑賞などにより楽しく学びました。私のクラスには日本人以外に韓国・中国・ブラジル・メキシコ・トルコ・スイス・タイ・コロンビアといった様々な国のクラスメートがいたので、現地で英語を学ぶ以外にもクラスメートと交流することで、色々な人の考えを知ることが出来ました。日本の学校ではなかなか学習しない前置詞や日常会話で使う単語などを、午前中の授業では扱うことが多かったのですが、その日のうちに出来るだけ復習し定着するように心がけました。そして、お昼休みには、様々な国のお菓子を交換したり、自分の国の言葉を皆で教えあったりして、様々な国の文化を楽しく学び身近に感じる事が出来ました。午後のクラスはlisteningに特化しておりこのクラスを受講したお陰で初日に比べてlistening力が向上し、最終日にはクラスメートやホームステイファミリーと日常会話を比較的流暢に行うことが出来るようになりました。また午後のクラスは特に仲が良く、授業終わりクラスメートや先生とドーナツを食べに行ったり中心街を散策したり、公園に行ったりと、充実した放課後を送ることが出来て本当に良かったです。また各クラスとも最終日にはテストと先生からのこれから何をすべきかという具体的なアドバイスがあるので、自分の英語能力をチェックするいい機会を持つことが出来ました。この語学学校に行く前は、英単語や英文法を机上で勉強するという方法しかしたことがありませんでしたが、言語を習得する際は実際に日常的に英語を用いることが大切だということを実感しました。また、自分の意見を他人に

理解してもらうことはとても難しいという事と、それと同時に大切だという事も改めて分かりました。



写真1 afternoon classmate

3. ホームステイ先での生活について

私が滞在させてもらったホームステイ先は、学校からバスと電車を用いて約40分のところに位置していました。また家族構成は、ポルトガル出身のホストファザー、カナディアン人のホストマザー、2歳の息子さんと、私と同じ年齢の1年間留学する予定の中国人の女の子、そして私の5人暮らしでした。朝食は、それぞれ家を出る時間が異なるので、各自で冷蔵庫にあるものを少し調理して食べました。昼食はいつもお弁当を用意してくださったので、学校に持っていき食べていました。お弁当はバターライスやチキン、ハンバーガーなど種類が豊富でとてもおいしかったです。夕食は、ホストファザーが料理が好きな人だったので、魚やミートパイ、ポルトガルの郷土料理など本当に豪華で毎日おいしかったです。夕食は5人揃って一緒に毎日食べるので、その日に学校であったことや自分の国の特徴など様々なテーマで毎日話を振ってくれて、楽しく英語に触れることが出来ました。また食後は2歳の男の子と中国人の留学生と私の3人で、ボールで遊んだりレゴブロックで遊んだりし、毎日2歳の子に本当に癒されていました。基本的に洗濯、お風呂などの制限もなく、留学生の受け入れに慣れている家族だったので、とても快適に過ごすことが出来ました。また週末には地元の留学生がいないようなスーパーマーケットやアイスクリーム屋さんなどにも連れて行って貰いました。最初の1週間は少し帰りたい気持ちもありましたが、ホームステイファミリーがとても優しくたまに日本食を出してくれる等の心遣いのおかげで4週間の語学留学はとても充実したものになりました。



写真2 ホームステイ先

4. アクティビティや観光について

週末の2日間は自由だったので、毎週末学校のツアーを利用して遠出をしました。1週目はバンクーバーの中心地からバスで約3時間ほどで行くことが可能なアメリカのシアトル、2週目はフェリーに乗って向かう、主要言語が英語のほかにフランス語もあるヨーロッパの雰囲気を持つヴィクトリア、最終週はバンクーバーオリンピックのスキーなどの競技が行われたウィスラーに行きました。まずシアトルは市場や **original** スターボックスに行きました。ここでは路上で音楽を演奏している人がとても多く市場に来ている地元の人はバンクーバーの地元の人と雰囲気が違いました。約3時間の距離であるけれども国が異なればこんなにも雰囲気が異なるのかと、とても驚きました。ヴィクトリアを訪れた日はちょうど聖パトリックの日で、街中の人が何かしら緑のアイテムを身につけており、外国ならではの行事を体験できて新鮮でした。ウィスラーでは、たくさん雪のアクティビティを体験でき非常に楽しかったです。また平日にはスタンレーパークやノースバンクーバー・グランビルアイランド・ライトハウスパーク・ガスタウンなどたくさんの観光名所に訪れることができました。様々なアクティビティに参加することで感動・驚きを色々な国の友達と共有してより距離を近づけることができたので、参加してよかったです。また日本にはない広大な自然をあらゆるところで体感できて本当に楽しかったです。



写真3 seattle spaceneedle



写真4 スタンレーパーク トータムポール



写真5 victoria castle



写真6 steam clock

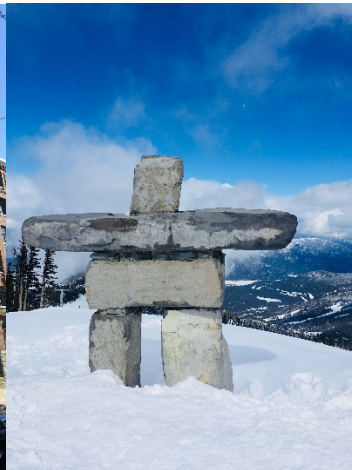


写真7 olympic stone

5. おわりに

今回国際交流基金助成事業を利用して、4週間誰一人知り合いがいない異国の地で生活をするという貴重な経験をする事が出来ました。短期留学なので著しく英語力が伸びたわけではありませんが、英語を用いれば様々な国の人と交流することが可能という事が分かりました。また今回の留学で様々な人に会い助けられ、たくさんの国の文化や考えを知ることが出来ました。そして、わずかではありますが、自分の中の考えの幅が少し広がった気がします。この経験を活かしてさらに自分の英語力を伸ばすとともに、様々なことに挑戦していきたいと思いました。今回は4週間という短い留学でしたが、様々なことを考え体験できたので本当に行くことが出来て良かったです。